

なくそうDV ～被害者にも加害者にもならないために～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出の自粛や休業等が長期化し、生活の不安やストレスから、配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)被害の増加や、深刻化が心配されています。

暴力の種類

身体的暴力

殴る、蹴る、髪を引っ張る、物を投げつける、刃物を突きつけるなど

精神的暴力

無視する、大声でどなる、実家や友人との付き合いを制限する、メールを細かくチェックする など

経済的暴力

生活費を渡さない、外で働かせない、借りたお金を返さない、預金を勝手に使う など

性的暴力

性的行為を強要する、中絶を強要する、避妊に協力しない、性的な画像をSNSに掲載するなど

配偶者からの暴力だけでなく、交際相手からの暴力も含まれます。

ちなみに

子どもがDVや口論を見聞きすることは、子どもの発達に悪影響を及ぼすため、児童虐待(心理的虐待)にあたります。

困ったときは相談を

●全国共通の短縮ダイヤル

発信地等の情報から、最寄りの相談機関に電話につながります。

- DV相談(相談機関:配偶者暴力相談支援センター) **#8008**(はれれば)
- 性暴力被害相談(相談機関:ワンストップ支援センター) **#8891**(はやくワンストップ)

●DV相談+(プラス)(内閣府)

電話: **0120-279-889** (つなぐ・はやく) (24時間対応)
 S N S: 12:00~22:00
 メール: 24時間対応、外国語対応あり
 スマートフォンからは右のQRコードよりご利用ください。



●一宮市女性悩みごと相談

相談場所: こども家庭相談室(本庁舎2階)
 電話: **0586-28-9149**
 相談時間: 月~金 10:00~12:00、13:00~16:30、土・日曜日、祝日、年末年始は休み
 先着受付順(予約なし)
 電話相談も可能(混雑時は来所の方優先)

●愛知県男性DV被害者ホットライン

電話: **080-1555-3055**
 相談時間: 毎週土曜日 13:00~16:00、第5土曜日、祝日、年末年始は休み

『いーぶん』は『男女共同参画』に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。
 『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。

編集協力者/岡西 美子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者/後藤 明美
 編集・発行/一宮市総合政策部政策課
 〒491-8501 一宮市本町2-5-6 TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128
 Eメール seisaku@city.ichinomiya.lg.jp ウェブサイト https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/
 *政策課のウェブサイト(ページID 1011667)では、『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。
 *『いーぶん』は市内公共施設で配布しています。配布場所については政策課にお問い合わせください。

特集

新しい生活様式

自分のために、みんなのために、今、変わります。

いーぶん

素敵なパートナーになるために



いちばん
 だいすき。
 一宮



一宮市は、100周年。

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生活を大きく変えました。今まで当たり前できていたことができなくなり、誰もが不自由さを感じています。

今号では、感染拡大がもたらしたライフスタイルの変化から、これからの新しい生活を考えます。

新型コロナウイルス感染症がもたらした ライフスタイルの変化

あなたの暮らしは、どう変わりましたか？



今までは、仕事に学校、習い事と、それぞれみんな忙しかったけれど、テレワークが取り入れられて、家族と一緒に過ごす時間が増えました。



会議はほとんどオンライン。
職場の人と顔を合わせる時間も、会話する時間も減って、今までのように気軽に相談しにくくなりました。



インターネットを見ている時間が増えました。情報が溢れていて、噂話や悪口もたくさんあるので判断に迷います。



コンサートがオンラインで開催！
小さな子供を連れて行くことができず諦めていたけれど、家で参加できました。

手洗いの習慣、バランスの取れた食事、十分な睡眠、自分の健康管理に気をつけるようになりましたね。



毎年参加を目標にしていた大会が中止になりました。外出の自粛もあって運動不足が気になります。



散歩の途中、公園でおしゃべりするのが楽しみだったのに…。
近所の人に会う機会が少なくなって、さびしいです。



帰省ができず、しばらく親に会えていません。
元気にしているか心配です。



いーぶん一家の「新しい生活様式」



今までは、ごみ捨てが僕の仕事。
昼間の妻は、洗濯、掃除、買い物、食事の準備に片付け・・・
一日中ずっと忙しそうにしていた。ほとんど妻任せだったんだなあ。
まずは、テレワークの日から、夕食、作ろうか？



みんなそろって「いただきます」と言えるのはうれしいわ。
でも外食は、大事な息抜きだったの・・・。
時々、テイクアウトやデリバリーを使いましょうよ。



感染が心配だから
息子たちにはしばらく来るなと言ってある。
でも孫の顔は見たいなあ。
まずは、ビデオ通話。タブレット買ってみようかな。



いつも帰りが遅かったお父さんが家で仕事をする日、
学校から帰った時「おかえり！」って言ってもらえるのがうれしい。



withコロナ時代の「新しい生活様式」は、QOL(生活の質)を考えるチャンスです。
自分のために、みんなのために、今、変わりませんか。